

# 2050年ゼロカーボン北海道の実現 に向けた道の動向等について

北海道オホーツク総合振興局 保健環境部 環境生活課



# 道の動向



- 令和2年(2020年) 3月 知事による「2050年までの温室効果ガス排出量実質ゼロ」の表明
- 令和4年(2022年) 3月 北海道地球温暖化対策推進計画(第3次)の改定
- 現在、北海道地球温暖化防止対策条例の改定に向け、見直し作業中

## 1 はじめに ~改定にあたって~

- 道では、令和3年3月に第三次「北海道地球温暖化対策推進計画」を策定し、長期目標である2050年「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組を開始。
- その後、国の「地球温暖化対策推進法」の改正や、「地球温暖化対策計画」が改定され、温室効果ガス削減目標が「2013年度比46%削減」に見直された。
- このような状況変化を踏まえ、2030年度の削減目標の見直しを行うとともに、重点的取組の追加・拡充、また、道民・事業者に分かりやすい計画となるよう身近な補助指標の追加などの改定を実施。

## 2 本計画の位置付けと期間

■ 本計画は、2050年までの「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進する上で、2030年までの削減目標やその達成に向けた取組等を示すものであり、「地球温暖化対策推進法」に基づく「地方公共団体実行計画(区域施策編)」として策定。

計画期間 2021年度(令和3年度)から 2030年度(令和12年度)まで



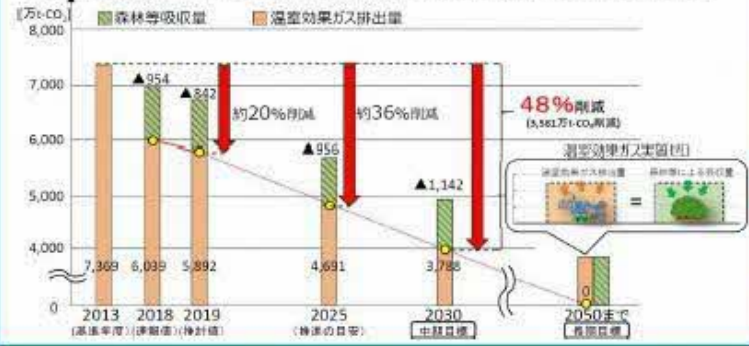
## 3 削減目標

(1) めざす姿(長期目標)  
2050年までに道内の温室効果ガス排出量を実質ゼロとする(ゼロカーボン北海道の実現)

(2) 中期目標(2030年度の温室効果ガス排出量の削減目標)

**2013年度比で 48% (3,581万t-CO<sub>2</sub>) 削減**

※再生可能エネルギーの過剰への排出、ブルーカーボンの排付など本道の強みを活かした取組により国の気候変動対策に貢献。



## 4 温室効果ガス排出抑制等の主な対策・施策

**取組の基本的な考え方**

- 地域の脱炭素化と経済の活性化、レジリエンス向上の同時達成
- ゼロカーボンに向けた認識の共有、意識の醸成、ライフスタイルや事業活動等の脱炭素社会に向けた自発的転換の促進
- 再生可能エネルギーや森林など本道の豊かな地域資源を最大限活用
- 環境と経済が好循環するグリーン社会の構築

**重点的に進める取組**

- 多様な主体の協働による社会システムの脱炭素化**
  - ✓ 脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへ転換
  - ✓ 地域の脱炭素化
  - ✓ 交通・物流の脱炭素化
  - ✓ 「グリーン×デジタル」の一体的な推進
- ZEB、ZEHの普及など建築物の脱炭素化推進**
  - ✓ 持続可能な資源利用推進
  - ✓ 革新的イノベーションによる創造
  - ✓ 気候変動への適応
- 豊富な再生可能エネルギーの最大限の活用**
  - ✓ 地域特性を活かしたエネルギーの地産地消の展開
  - ✓ ポテンシャルの最大限活用に向けた関連産業の振興
- 森林等の二酸化炭素吸収量の確保**
  - ✓ 森林吸収源対策
  - ✓ 農地土壌吸収源対策
  - ✓ 都市緑化の推進
  - ✓ 自然環境の保全
  - ✓ 水産分野の取組

## 5 2050年のゼロカーボン北海道のイメージ



## 6 計画の推進体制等

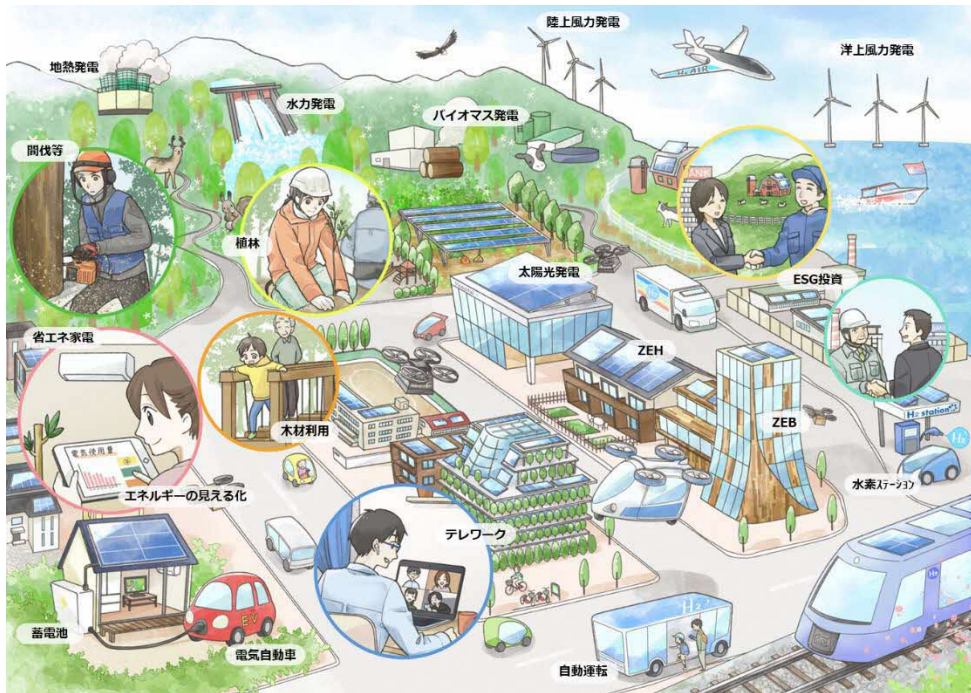
- 幅広い関係者との連携・協働による推進。  
幅広い関係団体で構成する「ゼロカーボン北海道推進協議会」や国の「ゼロカーボン北海道タスクフォース」などと連携・協働し、道内の気候変動対策を推進。
- 庁内の推進体制  
知事をトップとする「ゼロカーボン北海道推進本部」により施策を総合的かつ計画的に推進。  
各振興局に設置したゼロカーボン推進室において地域の実情に応じた取組を機動的かつ積極的に支援。

## 条例見直しのポイント

- 条例名の改称等
- 「前文」「目的」「定義」の拡充・強化と「基本理念」を新設
- 道の責務規定の追加・拡充
- 各分野の取組に係る規定の拡充・強化

# ゼロカーボン北海道とは

- 北海道においても、2020年3月、2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを表明しました。
- 再生可能エネルギーと吸収源の最大限の活用により、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進め、2050年までに、**環境と経済・社会が調和しながら成長を続ける北の大地「ゼロカーボン北海道」**の実現に向けて、各種取組を推進しています。
- 北海道では実現に向けて、2030年度に2013年度比で温室効果ガスを**48%削減**するという中期削減目標を設定。



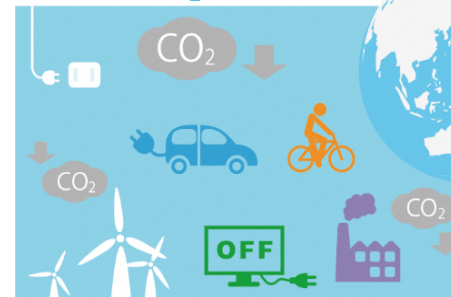
実現イメージ【イラスト：あいばゆう（第2回北のまんが大賞受賞者）】

## 「緩和」と「適応」

地球温暖化対策は、大きく分けて緩和と適応に大別され、緩和は、温室効果ガスの排出を抑制することであり、適応は、既に起こりつつある、または起こりうる気候変動の影響による被害を回避・軽減することであり、「緩和」とともに「適応」を進めていくことが重要です。

## 緩和とは？

CO<sub>2</sub>を減らす



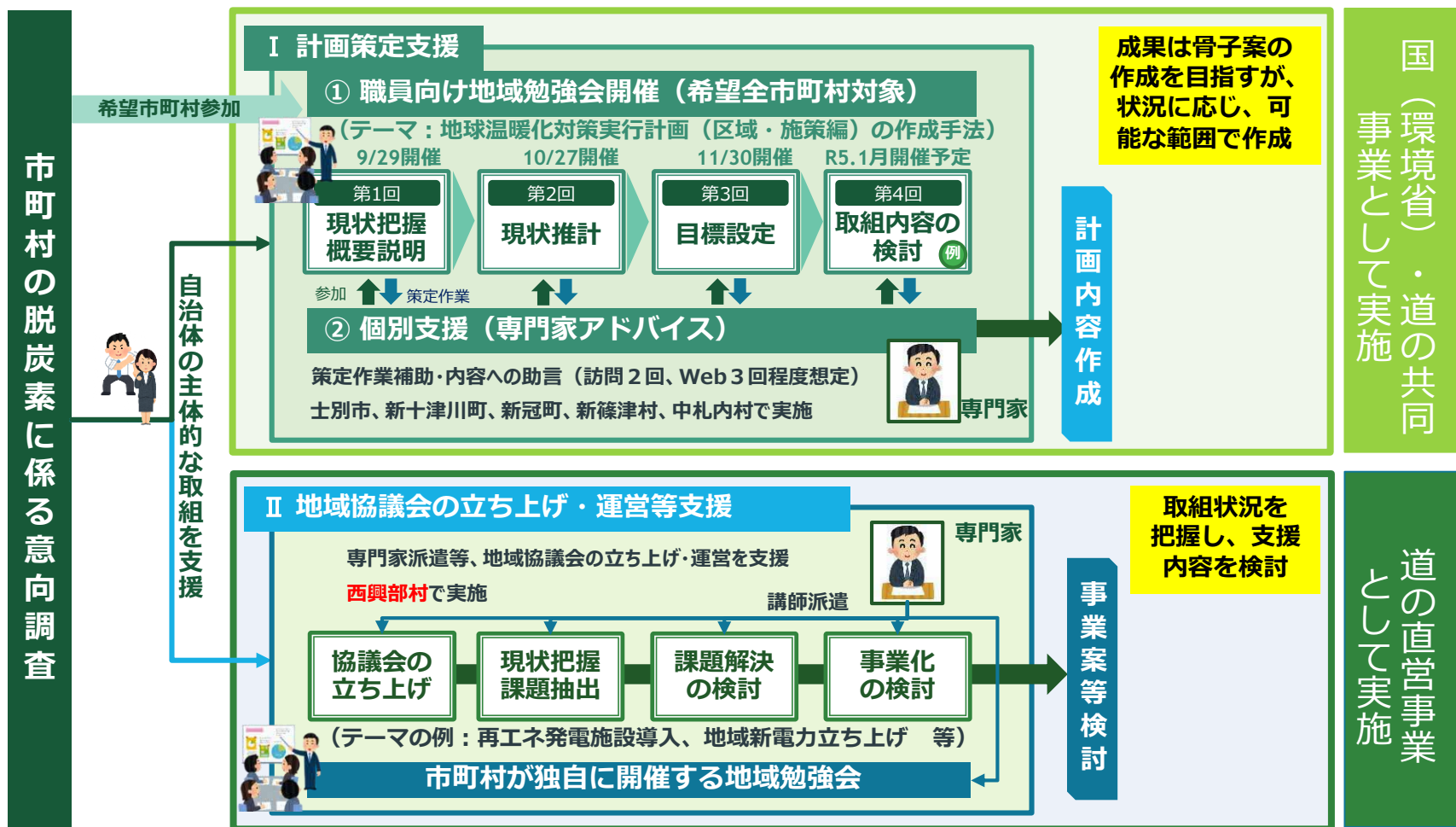
## 適応とは？

変化する気候に備える



# 道の施策 -地域脱炭素合意形成支援事業-

- ✓市町村からの要望が多い、「I 地球温暖化対策実行計画（区域・施策編）の策定」、  
「II 地域脱炭素に関する協議会の立ち上げ・運営」（いずれも合意形成が必要）に対して支援を行う。
- ✓市町村が主体的に行う上記の取組について、専門性の高い事業者による各種サポートを行う。
- ✓全市町村を対象とした職員向け勉強会を実施し、市町村が独自に開催する地域勉強会に対して講師を派遣。



特定課題対策事業に地域づくり総合交付金（ゼロカーボン推進事業）を設置し、地域の取組を支援

## 事業概要等

### ◆ 交付対象事業

ゼロカーボン北海道の実現に向けて取り組む、地域の特性と優位性を活かした脱炭素化の事業で、特に重点的に支援する必要があると知事が認めるハード系事業及びソフト系事業（交付率 1 / 2 以内）

### ◆ 交付対象者

- ・ 市町村
- ・ 複数の市町村で構成する協議会等
- ・ 地域脱炭素化を目的に市町村が出資若しくは構成員として参画する団体等

### ◆ 交付金の上限額

- ・ ハード系事業 1,000万円（下限額50万円）
- ・ ソフト系事業 500万円（下限額50万円）

### ◆ 予算額

50,000千円

## スケジュール

### 制度設計等 (4~8月)

- ・ 要望調査
- ・ 実施要綱
- ・ 決定

### 募集・審査 (9~10月)

- ・ 事業募集 **終了**
- ・ 事業計画審査

### 事業採択 (11~12月)

- ・ 内示
- ・ 交付決定

### 実績報告 (随時)

- ・ 実績報告審査
- ・ 現地調査
- ・ 額確定、交付金交付

## 優先採択する取組

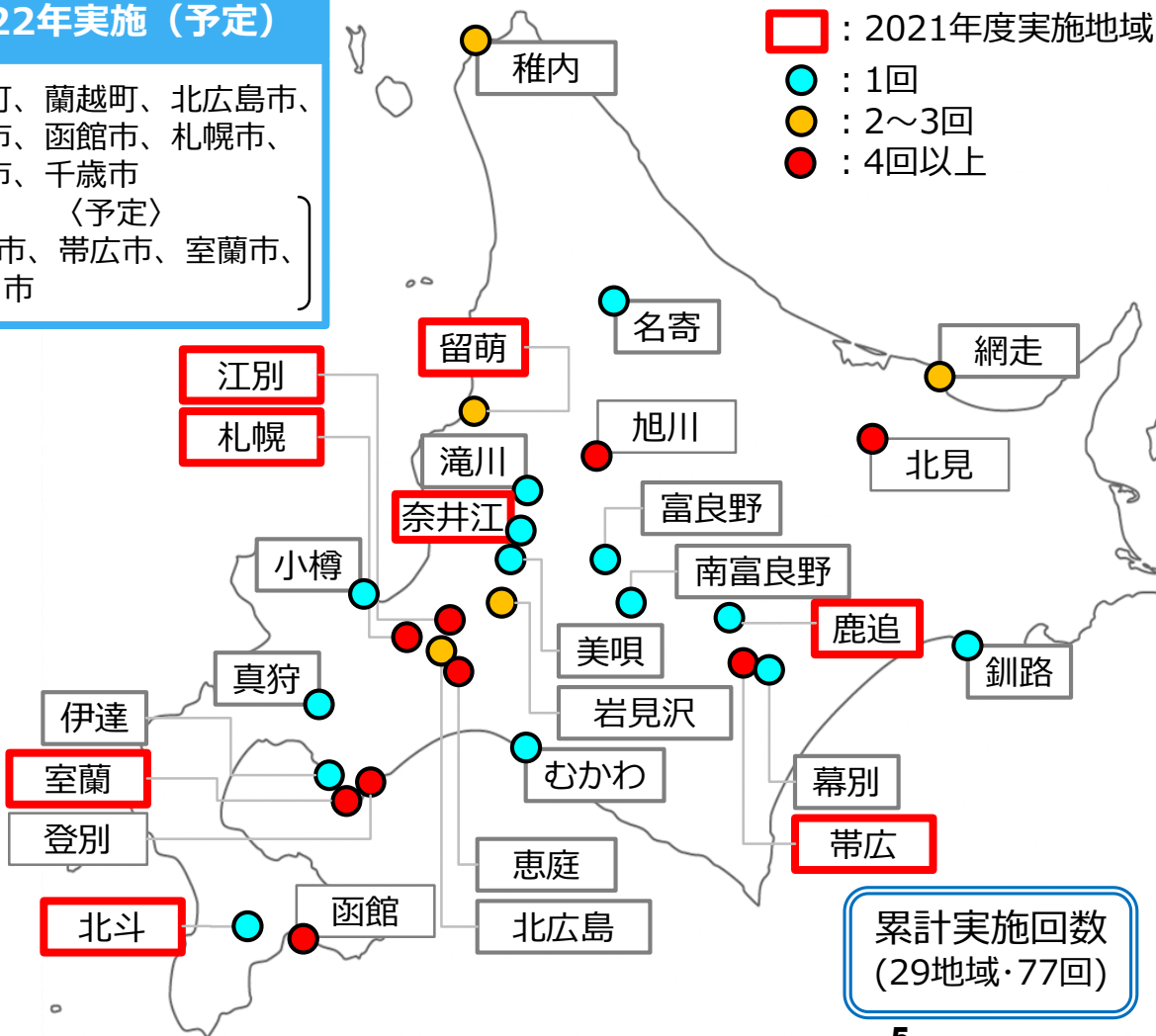
- ・ 市町村が関与した地域脱炭素を担う組織（地域電力会社等）の立ち上げ支援事業
- ・ 地域特性を活用した地域脱炭素に資する事業の検討支援事業
- ・ 地域創生に資する再エネ導入促進事業
- ・ 産官学が連携して取り組む先駆的な事業
- ・ 振興局と地域の連携により先導的な取組を進める事業

# 道の施策 -水素社会推進事業-

- 将来のエネルギーとして期待される「水素」を道民に周知する「水素・燃料電池普及啓発」を展開。
- 環境優位性のみならず、災害時における給電機能を周知するため、防災訓練などにおいても展示・実演。

## 2022年実施（予定）

深川町、蘭越町、北広島市、  
登別市、函館市、札幌市、  
三笠市、千歳市  
〔 江別市、帯広市、室蘭市、  
滝川市 〕



累計実施回数  
(29地域・77回)



# 道の施策

## -太陽光発電及び蓄電池システム共同購入事業-



### 事業概要

- 目的はゼロカーボン北海道の実現に向けた「**家庭部門等における再エネ導入促進**」。
- 同事業は、太陽光発電及び蓄電池システムの購入希望者を広く募り、一定の需要をまとめ、施工事業者に対し競り下げ方式での競争入札にかけ、スケールメリットによる価格低減と着実な設備導入を促す仕組み。民間連携事業として令和3年度から展開。

### 経過

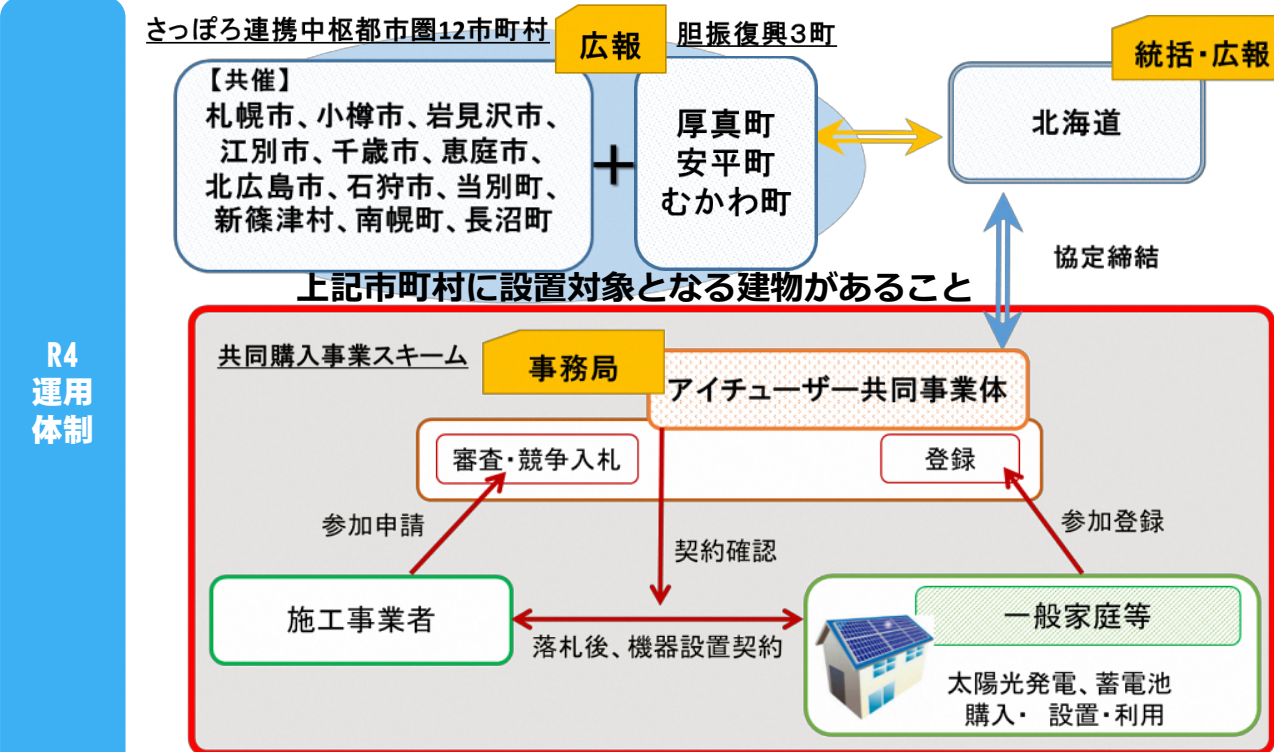
令和3年3月 : 事業の事務局を担う民間事業者を公募・選定し、協定を締結（アイチューザー共同事業体に決定）。

令和3年5月12日～9月7日 : さっぽろ連携中枢都市圏12市町村（札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町）を対象地域に共同購入の参加募集を実施。  
参加登録実績400件

令和3年10月～ : 落札した施工事業者及び購入希望者間での契約手続きや実際の施工を開始。

令和4年3月16日～8月17日 : さっぽろ連携中枢都市圏12市町村及び**胆振復興3町**（厚真町、安平町、むかわ町）を**対象地域に追加**して共同購入の参加募集を実施中。**参加登録実績400件⇒744件へ増**

**今年度終了**



購入プランは3パターン	割引率は前回の実績（令和3年）
1 太陽光パネル 12kW	19.8% OFF
2 太陽光パネル+蓄電池 12kW/3.5kWh	22.1% OFF
3 蓄電池 3.5kWh	11.0% OFF

道民の皆様へ  
道では、ゼロカーボン北海道の実現に向け、太陽光発電の普及拡大を進めています。この機会に是非、災害時にも電気が確保できる太陽光パネルや蓄電池の導入をご検討ください。

無料の参加登録をすると、ご自宅に導入した場合の見積もりが確認できます。

**3.16** ▶ **8.17**  
2022.スタート ▶ 2022. まで

参加登録期間  
参加登録しても太陽光パネルや蓄電池の購入契約義務はありません。

北海道 みんなのおうちに太陽光 検索

参加登録、詳しい情報は専用WEBサイトからご確認ください  
<https://group-buy.jp/solar/hokkaido/home>

主催: 北海道、共催: 札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町